



CTI ルート ポイントの設定

Computer Telephony Integration (CTI) ルート ポイントでは、仮想デバイスを指定します。この仮想デバイスは、アプリケーションが宛先変更を制御している多重同時コールを受信することができます。

ファースト パーティ コールを制御するために、アクティブな音声回線ごとに CTI ポートをオプションで追加できます (CTI アプリケーションがこれを決定します)。CTI ルート ポイントおよび CTI ポートを使用するアプリケーションには、Cisco SoftPhone、Cisco IP Auto Attendant、および Cisco IP Interactive Voice Response System があります。Cisco CallManager Administration に CTI ルート ポイントを追加した後、RIS Data Collector サービスからの情報が、CTI Route Point Configuration ウィンドウ内に表示されます。デバイスの IP アドレス、およびデバイスが登録されている Cisco CallManager の名前が利用可能であれば、表示されます。

これらのアプリケーションに関連した CTI ルート ポイントおよび CTI ポートの設定方法については、各アプリケーションに付属の資料とオンライン ヘルプを参照してください。

ここでは、次の内容について説明します。

- [CTI ルート ポイントの検索 \(P.67-2\)](#)
- [CTI ルート ポイントの設定 \(P.67-3\)](#)
- [CTI ルート ポイントの設定値 \(P.67-4\)](#)
- [CTI ルート ポイントの削除 \(P.67-6\)](#)
- [CTI ルート ポイントのリセット \(P.67-7\)](#)

CTI ルートポイントの検索

CTI ルートポイントを検索し、一覧表示する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 **Device > CTI Route Point** の順に選択します。

Find and List Route Points ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 使用する検索条件を選択します。すべての項目を表示するには、検索テキストを入力しないか、検索条件として「Device Name is not empty」を使用します。

ステップ 3 **Find** をクリックします。

ウィンドウの内容が更新され、指定された検索条件と一致する CTI ルートポイントのリストが表示されます。

ステップ 4 次の CTI ルートポイントのリストを表示するには、**Next** をクリックします。



(注) Find and List Route Points ウィンドウから複数の CTI ルートポイントを削除するには、適切な CTI ルートポイントの横にあるチェックボックスをオンにし、**Delete Selected** をクリックします。複数の CTI ルートポイントをリセットするには、適切な CTI ルートポイントの横にあるチェックボックスをオンにして、**Reset Selected** をクリックします。ウィンドウ内の CTI ルートポイントをすべて選択するには、**Select All** をクリックします。

追加情報

P.67-8 の「[関連項目](#)」を参照してください。

CTI ルート ポイントの設定

CTI ルート ポイントを追加または更新する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 Device > CTI Route Point の順に選択します。

Find and List Route Points ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 次の作業のいずれかを実行します。

- CTI ルート ポイントをコピーするには、該当するルート ポイントを見つけます (P.67-2 の「[CTI ルート ポイントの検索](#)」を参照)。Search Results リストから、コピーする CTI ルート ポイントに対応する **Copy** アイコンをクリックし、[ステップ 3](#) に進みます。
- 新規 CTI ルート ポイントを追加するには、**Add New** ボタンをクリックします。CTI Route Point Configuration ウィンドウが表示されます。[ステップ 3](#) に進みます。
- CTI ルート ポイントを更新するには、該当する CTI ルート ポイントを見つけます (P.67-2 の「[CTI ルート ポイントの検索](#)」を参照)。次に、[ステップ 3](#) に進みます。

ステップ 3 適切な設定値を入力します (表 67-1 を参照)。

ステップ 4 **Save** をクリックします。

電話番号の追加と設定の方法については、P.49-4 の「[電話番号の設定](#)」を参照してください。

Cisco CallManager Administration に CTI ルート ポイントを追加した後、RIS Data Collector サービスからの情報が、CTI Route Point Configuration ウィンドウ内に表示されます。デバイスの IP アドレス、およびデバイスが登録されている Cisco CallManager の名前が利用可能であれば、表示されます。

追加情報

[P.67-8 の「関連項目」](#) を参照してください。

CTI ルート ポイントの設定値

表 67-1 では、CTI ルート ポイントの設定値について説明します。関連する手順の詳細については、P.67-8 の「関連項目」を参照してください。

表 67-1 CTI ルート ポイントの設定値


フィールド	説明
Device Name	このデバイスに固有の識別子を、1～15 文字（英数字、ドット、ダッシュ、または下線を含む）で入力します。
Description	CTI ルート ポイントの内容を表す名前を入力します。
Device Pool	デバイス プールの名前を選択します。デバイス プールは、自動登録用の CallManager Group、Date/Time Group、Region、および Calling Search Space を含む、このデバイスのプロパティの集合を指定します。
Calling Search Space	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、コーリング サーチ スペースを選択します。コーリング サーチ スペースは、収集された（発信）番号のルーティングする方法を決定するために検索されるパーティションの集合を指定します。</p> <p>Max List Box Items エンタープライズ パラメータを使用して、このドロップダウン リスト ボックスで表示するコーリング サーチ スペースの数を設定できます。Max List Box Items エンタープライズ パラメータで設定された数よりもコーリング サーチ スペースの数が多い場合、省略記号ボタン (...) がドロップダウン リスト ボックスの横に表示されます。... ボタンをクリックすると、Select Calling Search Space ウィンドウが表示されます。</p> <p>List items where Name contains フィールドにコーリング サーチ スペース名の一部を入力します。Select item to use ボックスに表示されるコーリング サーチ スペースのリストで、希望するコーリング サーチ スペース名をクリックし、OK をクリックします。</p> <p> (注) リスト ボックスの最大項目を設定するには、System > Enterprise Parameters の順に選択し、CCMAdmin Parameters を選択します。</p>
Location	このルート ポイントに適切なロケーションを選択します。ロケーションは、このロケーションとの間のコールに使用可能な帯域幅の合計を指定します。ロケーションに <i>None</i> を設定すると、そのロケーションの機能では、このルート ポイントが消費する帯域幅を把握しません。
Media Resource Group List	<p>適切なメディア リソース グループ リストを選択します。メディア リソース グループ リストは、優先順位順に並べられたメディア リソース グループから構成されます。アプリケーションは、メディア リソース グループ リストで定義された優先順位に従って、使用可能なメディア リソースの中から、必要なメディア リソース、たとえば、Music On Hold サーバを選択します。</p> <p><none> を選択すると、Cisco CallManager は、デバイス プールに定義されているメディア リソース グループを使用します。</p> <p>詳細については、『Cisco CallManager システム ガイド』の「メディア リソースの管理」を参照してください。</p>

表 67-1 CTI ルート ポイントの設定値 (続き)

フィールド	説明
Network Hold Audio Source	<p>ネットワークが保留動作を開始するときに再生されるオーディオソースを指定するには、ドロップダウン矢印をクリックし、表示されるリストからオーディオソースを選択します。</p> <p>オーディオソースを選択しない場合、Cisco CallManager は、デバイスプールに定義されているオーディオソースを使用します。または、デバイスプールがオーディオソース ID を指定していない場合は、システムデフォルトを使用します。</p> <p>オーディオソースの定義は、Music On Hold Audio Source Configuration ウィンドウで行います。アクセスするには、Media Resources > Music On Hold Audio Source の順に選択します。</p>
User Hold Audio Source	<p>アプリケーションが保留操作を開始するときに再生されるオーディオソースを指定するには、ドロップダウン矢印をクリックし、表示されるリストからオーディオソースを選択します。</p> <p>オーディオソースを選択しない場合、Cisco CallManager は、デバイスプールに定義されているオーディオソースを使用します。または、デバイスプールがオーディオソース ID を指定していない場合は、システムデフォルトを使用します。</p> <p>オーディオソースの定義は、Music On Hold Audio Source Configuration ウィンドウで行います。アクセスするには、Media Resources > Music On Hold Audio Source の順に選択します。</p>

CTI ルート ポイントの削除

CTI ルート ポイントを削除する手順は、次のとおりです。

始める前に

1 つまたは複数の電話番号に関連付けられた CTI ルート ポイントを削除できるため、CTI ルート ポイントを使用している電話番号を特定する必要があります。CTI ルート ポイントを使用している電話番号を特定するには、CTI Route Point Configuration ウィンドウの Related Links ドロップダウン リストボックスから **Dependency Records** リンクを選択し、**Go** をクリックします。Dependency Records がシステムで使用可能になっていない場合、Dependency Records Summary ウィンドウにメッセージが表示されます。Dependency Records の詳細については、P.A-4 の「[Dependency Records へのアクセス](#)」を参照してください。使用されている CTI ルート ポイントを削除しようとすると、Cisco CallManager はメッセージを表示します。

割り当てられている電話番号をもつ CTI ルート ポイントを削除する場合、Route Plan Report を使用して電話番号を検索できます。Route Plan Report を使用して電話番号を削除することもできます。

手順

ステップ 1 Device > CTI Route Point の順に選択します。

Find/List CTI Route Points ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 削除する CTI ルート ポイントの検索に必要な検索条件を指定します。

ステップ 3 Find をクリックします。

ウィンドウの内容が更新され、指定された検索条件と一致する CTI ルート ポイントのリストが表示されます。

ステップ 4 次のアクションのいずれかを実行します。

- 削除する CTI ルート グループの横にあるチェックボックスをオンにし、**Delete Selected** をクリックする。
- ウィンドウ内の CTI ルート ポイントをすべて削除する場合は、**Select All** をクリックし、**Delete Selected** をクリックする。
- 削除する CTI ルート ポイントの名前を選択して、現在の設定値を表示し、**Delete** をクリックする。

ステップ 5 OK をクリックすると、CTI ルート ポイントが完全に削除されます。

追加情報

P.67-8 の「[関連項目](#)」を参照してください。

CTI ルート ポイントのリセット

CTI ルート ポイントをリセットする手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 **Device > CTI Route Point** の順に選択します。

Find and List CTI Route Points ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 使用する検索条件を選択します。

ステップ 3 **Find** をクリックします。

検索条件に一致する CTI ルート ポイントがウィンドウに表示されます。

ステップ 4 リセットする CTI ルート ポイントの横にあるチェックボックスをオンにします。ウィンドウ内の CTI ルート ポイントをすべて選択するには、**Matching records** タイトルバーにあるチェックボックスをオンにします。

ステップ 5 **Reset Selected** をクリックします。

Reset Device ダイアログが表示されます。

ステップ 6 次のいずれかのボタンをクリックします。

- **Restart** : デバイスをシャットダウンしないで再起動する。
 - **Reset** : デバイスをシャットダウンしてから起動する。
 - **Close** : 何も実行しないで、Reset Device ダイアログを閉じる。
-

追加情報

P.67-8 の「[関連項目](#)」を参照してください。

関連項目

- [CTI ルート ポイントの設定 \(P.67-3\)](#)
- [CTI ルート ポイントの検索 \(P.67-2\)](#)
- [CTI ルート ポイントの設定値 \(P.67-4\)](#)
- [CTI ルート ポイントの削除 \(P.67-6\)](#)
- [CTI ルート ポイントのリセット \(P.67-7\)](#)
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「コンピュータ テレフォニー統合」